

2024年3月29日

## News Release

芙蓉総合リース株式会社  
(コード番号：8424 東証プライム)  
代表取締役社長 織田 寛明

### 株式会社日本政策投資銀行による環境格付に基づく融資のお知らせ

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 織田寛明、以下「芙蓉リース」）は、株式会社日本政策投資銀行（東京都千代田区、代表取締役社長 地下誠二、以下「DBJ」）が実施する環境格付において、「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクの格付を取得し、環境格付融資を受けましたので、お知らせいたします。



当社は、2024年3月日本政策投資銀行（DBJ）より環境格付融資を受け、格付結果は「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」と評価されました。

「DBJ 環境格付」融資は、DBJ が開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化し、優れた企業を選定するという世界で初めての融資メニューです。最高ランクの格付取得は12回連続となりますが、今回の格付では特に次の点が高い評価を受けました。

- (1) 循環型社会実現への貢献を重要課題の1つとして掲げ、今般新たに開始したサーキュラーエコノミーリースを通じて対象物件を確実にリユース・リサイクルすることで、顧客とともに製品寿命の長期化・資源再生といったライフサイクル運営に取り組む仕組みを構築していることに加え、環境配慮商品・サービスに関する社内教育およびインセンティブの内容に最新の注力分野を反映することで、事業を通じて創出する環境価値について積極的な普及促進を図っている点。

(2) 経営層をトップとする CSV 推進委員会を中心とした着実なマネジメント体制の推進に加え、CSV 経営の理解・共感・実践に向けた研修を国内外グループ会社にも展開しグループ横断的に CSV 経営の浸透を図るほか、サプライチェーン上の人権リスクの把握に向け人権デューデリジェンスを開始するなど、自社のみならずグループ会社や取引先にも取り組みを拡大し更なるマネジメント強化に向けて取り組んでいる点。

(3) 各事業を取り巻く外部環境変化や自社の強みを把握・整理したうえで、2030 年における全社のありたい姿からバックキャストしてマテリアリティを特定し、脱炭素・サーキュラーエコノミーといった環境課題解決のみならず BPO 事業を通じた独自の価値提供等、多面的な環境・社会価値の創出に向け着実に CSV 経営を推進している点。

芙蓉リースグループは、CSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとしての持続的な成長を目指しています。今後もグループ一体となって気候変動問題や資源循環をはじめとした取り組みを推進することで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

以上

お問い合わせ先

芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室（担当）山崎・渡邊  
電話番号 03（5275）8891 URL：<https://www.fgl.co.jp/>